

## 「ジャカラнда」への小さな恋の物語

シビルNPO 連携プラットフォーム サポーター  
NPO 法人 SLIM JAPAN 理事 塚原 健一



CNCP 通信連載中のシドニー視察旅行記も、各人レポートは諸分野に及び、いよいよ最終回も近くなった本号では、本来の研修とは道を外れますが、私を含み旅団員全員が日本国内生活圏では普段経験出来ない様な日々をレポートしてみます。

豪州渡航を経験されたことのある読者の皆様は、どれ程の方がこの花のご見識をお持ちでしょうか。2度目の渡航となる私ですが、この初体験を生涯忘れる事が出来なんでしょう。原産地はブラジルやアルゼンチンで花言葉は「名誉」や「栄光」と表現するとのこと、その名は「ジャカラнда」、別名日本では「紫雲木」や「桐擬き」とも呼ばれています。今回、旅団員からの強い要望もあり、研修旅団長 SLIM JAPAN 有岡理事長が、当時（30年前？）自宅のあった豪州 NSW 州シドニー北部のキララへ案内して頂き、渡航前に聞いていた「ジャカラнда」の「花」に出会う事が出来ました。この素晴らしさをどの様な言葉で表現すればご理解頂けるかと苦悩しますが、花卉は一見したところ「梵鐘」が思い浮かび、よく視るとそれより細身で八頭身、まるで洒落た風鈴の様でした。（右写真）



花の色は「淡紫」から「濃紫」と多様であり、それは樹齢で異なるのか、木高で異なるのか、未解決のまま唯々見惚れて時間が経過します。その「ジャカラнда」並木道に沿って広がる名門ゴルフ場の名は、現地を車で案内してくれた Kam Tara さんから聞いてはいましたが、放心状態に近い私には残念ながら記憶に残っていません。いわば神宮外苑の「銀杏並木」の如く、約 200M~250M の道路両脇に咲き誇る木々は、外苑とは多少異なり等間隔ではないが、それぞれが自慢げに開花しておりました。まるで日本の春爛漫で、かつてはこの通りを「ジャカラнда通り」として騒がれた由緒ある一路であったそうです。その時代有岡理事長は樹木下で、花見で一杯二杯と騒いだかどうかは未確認でしたが……。その頃に比べずいぶん数が少なくなったとのことですが、厳しい見方をすれば樹木管理や保守整備の欠落か、環境問題か、所々幹に痛々しく大小傷があり、枯れてしまったのもあるのしょう。



保湿や保水、そして冬季の通気性を考慮した幹巻など、日本の様に手入れするのかが気になるころでした。いくつか課題が残るがしかし、それでも元気に咲き誇る「ジャカラнда」は、下の写真の様に日本の桜同様、側道脇豪邸の庭先のそこかしこに、といったところでした。

美しい花達を愛する人間の優しい気持ちは、おそらく世界共通と改めて確認する事が出来た。他方、ゴルフ場に目を移すとコース間のラフ樹木にも「ジャカラング」は、ショットポイントになる様な位置に鎮座し、ゴルファーの目を楽します事になるのでしょう。フェアウェイ緑とのコントラストが、花色こそ異なるが日本の「さくら」を連想させてくれました。また、同行のS女史、とM女史、お二人も気持ちが高揚した一時であったのでしょうか。一箇所では花欲足りず、私達は再び有岡理事長、Kamさんの案内で「キリビル」へ移動、そこはまるで田園調布を連想する閑静な住宅街、傍には小さな公園も有りとても空気が美味しく感じ、感動する私達へのご褒美として「ジャカラング」から柔らかく淡い香まで頂いた様な気がしました。（下写真）



(余談①：ここなら残す人生移住しても損は無いと、同行の宮下氏にテレパシー送信)

(余談②：写真左の紳士はいつものハンチング帽、しかし背中が疲れの現れか)

隣を見ると「S女史・M女史ともに」素晴らしいを連呼で「ジャカラング」達にうっとり。自身の目にコピーするだけでは事足りず、さかんに The shower flash。豪州では各家庭の樹木でありながらも、街路樹とし広く各地で登用される様だ。そう、日本の「さくら」同様一年 1回の短い開花生涯と似ている（ジャカラングは桜の約2倍の開花寿命有り）。見守ってやりたいと思う「優しい人間の心」と共通するから。つい昔のメロディーを思い出しました、「♪ちいさい花にくちづけをしたら・・・」その優しいおじさんになりました、そう初恋です。

その曲の歌詞にもありますが、「♪私を摘んでお家に連れてって・・・」ではありませんが、S女史に「ジャカラング」の種子を拾って頂きました。多分皆様からそれとなくご下命頂いたのか、それとも自身で思い込んだのか定かではないが、日本に持ち帰りこの思い出と共に、キララで拾った「命」を大切に、東京で育ててみようと思いましたが、残念ながら植物検疫により不可能。確かに気候的には難しく難易度は高いが、日本国内で種子を入手し先駆者の宮下事務局長のご経験をご教示いただき、自宅狭庭に「濃紫」の1ポイントを「小さな恋心」として咲かせてみたい。

市内移動中の車窓からも、そして、カトウーンバへの道中にも「ジャカラング」は美しい姿を見せ堪能しました。これから豪州観光旅行に向かう皆様には是非、10月末～11月中をお奨め致します。最後になりますが、AUSTRALIA KUMAGAI 橋爪所長様 秦泉寺様本当に有難うございました。

